

二	問	6	3	3	4	2	3	2	2	2	27
	問七										
問四II 本文に即した内容であること。 問七 「価値観」「複雑さ」「生きること」が用いられており、本文に即した内容であること。	備考	問七(例)	問六	問五	問四(例II)	問四(I)	問三	問二	問一(b)	問一(a)	
		をばと複雑異なる相互関係構築	ウ	い他者間の存在をほぼ無視	エ	ア	うながし	こうざ			
		形をともにも生きている活動で	て、	エ	ア	うながし	こうざ				
		成使用に生きている活動で	、	エ	ア	うながし	こうざ				
		すって生きることを学べる	伝	エ	ア	うながし	こうざ				
		可能性に活動で	え	エ	ア	うながし	こうざ				
			る	エ	ア	うながし	こうざ				
			た	エ	ア	うながし	こうざ				
			め	エ	ア	うながし	こうざ				
			の	エ	ア	うながし	こうざ				

一	問	5	2	3	4	4	3	2	2	2	27
	問七										
問四 本文に即した内容であること。 問五 本文に即した内容であること。 問七II 本文に即した内容であること。	備考	問七(例II)	問六(I)	問五(例)	問四(例)	問三	問二	問一(b)	問一(a)		
		精進しよとうい	菜月に向かって笑い掛けた	技術の至らなさに対して情けない	チェックの結果が気になっ緊張	ウ	エ	ほどこ	さっそく		
		しよとうい	菜月に向かって笑い掛けた	技術の至らなさに対して情けない	チェックの結果が気になっ緊張	ウ	エ	ほどこ	さっそく		
		しよとうい	菜月に向かって笑い掛けた	技術の至らなさに対して情けない	チェックの結果が気になっ緊張	ウ	エ	ほどこ	さっそく		
		しよとうい	菜月に向かって笑い掛けた	技術の至らなさに対して情けない	チェックの結果が気になっ緊張	ウ	エ	ほどこ	さっそく		
		しよとうい	菜月に向かって笑い掛けた	技術の至らなさに対して情けない	チェックの結果が気になっ緊張	ウ	エ	ほどこ	さっそく		
		しよとうい	菜月に向かって笑い掛けた	技術の至らなさに対して情けない	チェックの結果が気になっ緊張	ウ	エ	ほどこ	さっそく		
		しよとうい	菜月に向かって笑い掛けた	技術の至らなさに対して情けない	チェックの結果が気になっ緊張	ウ	エ	ほどこ	さっそく		
		しよとうい	菜月に向かって笑い掛けた	技術の至らなさに対して情けない	チェックの結果が気になっ緊張	ウ	エ	ほどこ	さっそく		
		しよとうい	菜月に向かって笑い掛けた	技術の至らなさに対して情けない	チェックの結果が気になっ緊張	ウ	エ	ほどこ	さっそく		

一	問	備考
問四	本文に即した内容であること。	
問五	本文に即した内容であること。	
問七II	本文に即した内容であること。	

【注意】この採点基準によって処理しがたい細部については、各学校で適正な基準を設けること。	(3) 書写・表記	3	(2) 構想・叙述	6	(1) 内容	9	18
	A B C	A B C D	A B C D				
【評価の観点】	(3) 書写・表記	○○文字が正しく、表記や語句の用法が適切であるか。 ○○字形や大きさ、配列など、文字が整っているか。					
	(2) 構想・叙述	○○二段落で構成されており、二〇〇字以上二四〇字以内で書かれてあるか。 ○○第一段落には、AとBの二つの言葉について、読み取った考えが述べられ、第二段落には、自分の考えが、自身の体験や聞きしたことを含めて述べられているか。 ○○文章の組み立てや展開が適切で、叙述の仕方が的確であるか。					
	(1) 内容	○○AとBの二つの言葉について、読み取った考えが、明確に述べられているか。 ○○「自分が成長するために」という題に即して、自身の体験や聞きしたことを踏まえ、自分の考えを深めているか。 ○○第二段落で述べられている内容が、第一段落で述べられている内容を踏まえたものになっているか。					

3	2	2	2	2	2	13
問二	5	4	3	2	1	
ウ	街路	軽快	円熟	預ける	株	

三	問	備考
問四	本文に即した内容であること。	

4	4	3	2	2	15
問五	ア	イ	エ	いいし	
問四(例)	田地を争って得がたい兄弟を失う				